

平成30年度 当初予算

市の一年間のお金の使い方をまとめた当初予算が完成しました。平成30年度の全会計の当初予算額は、前年度と比べて11億1,027万3千円（率にして2.0%）減の546億3,627万8千円となっています。

このうち、一般会計は3.1%増の255億8,830万7千円、特別会計は8.0%減の181億9,067万5千円、企業会計は2.6%減の108億5,729万6千円、全会計は2.0%減の546億3,627万8千円となっています。

〔財政課〕

各会計の当初予算額

一般会計 255億8,830万7千円
(対前年度比 3.1%増)

特別会計 181億9,067万5千円
(対前年度比 8.0%減)

企業会計 108億5,729万6千円
(対前年度比 2.6%減)

全会計 546億3,627万8千円
(対前年度比 2.0%減)

一般会計の内訳

歳入総額 255億8,830万7千円

歳出総額 255億8,830万7千円

前年度と比較すると…

地方交付税 +1億8,000万円
普通交付税の増加により +2.3%

国庫支出金 +9,823万9千円
障害者自立支援給付費負担金や小学校大規模改造事業補助金などの増加により +3.8%

県支出金 +3億958万円
子育て支援特別対策事業費補助金（保育所緊急整備事業）などの増加により +18.1%

市債 +4億2,330万円
公民館や子ども園の建設など大型事業の実施により +27.0%

民生費 +5億1,244万2千円
障がい者自立支援給付費や（仮称）学文路子ども園整備費補助金や（仮称）山田子ども園整備費の増加などにより +5.5%

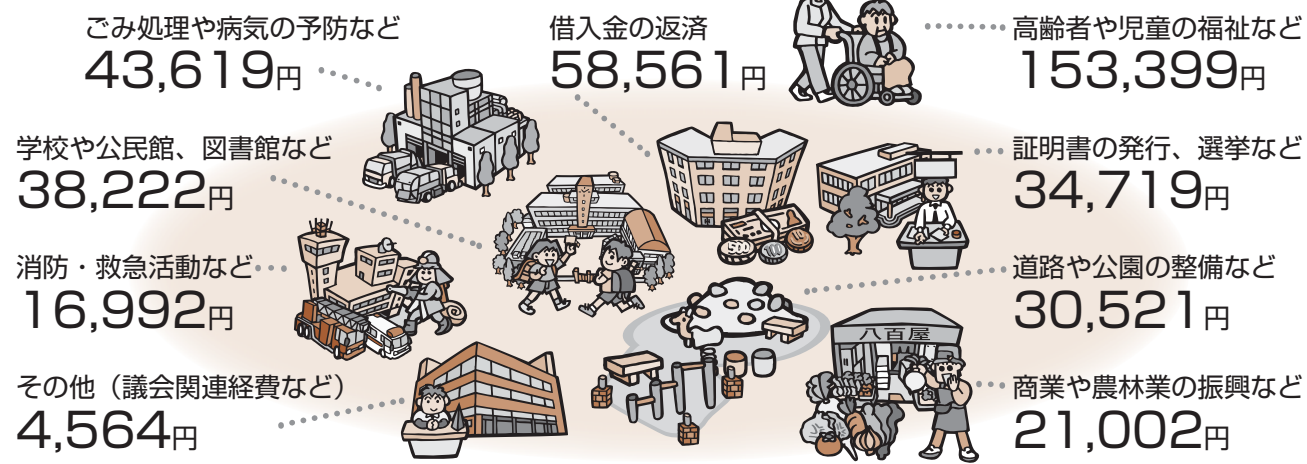
教育費 +2億9,784万8千円
小学校大規模改造事業費や学文路地区公民館建設事業費などの増加により +13.9%

商工・農林水産業費 +6,637万3千円
（仮称）あやの台北部用地開発関連委託料の増加などにより +5.2%



市民1人当たりの市税負担額 **103,851円**

市民1人当たりが受ける行政サービス額 **401,599円**



※「市民1人当たりの市税負担額」および「市民1人当たりが受ける行政サービス額」は平成30年1月31日の市の住民基本台帳登録人口数（63,716人）で除して算出しています。

一般会計の概要

歳入

主な事業として、昨年の台風第21号の災害対応での教訓から排水ポンプ車の購入やライブカメラの設置など、防災対策を図ります。また、学文路地区公民館の建替えや、学校施設の長寿命化のための応其小学校・学文路小学校の大規模改造、あやの台地区児童保育所の建設、公私連携型子ども園として（仮称）学文路子ども園・（仮称）山田子ども園の整備など、教育・保育環境の改善に向けた取り組みなどを反映した予算編成となっています。

歳出

市税については、法人市民税や軽自動車税の増額を見込んでいるものの、個人市民税の減額や評価替えによる固定資産税の減額を見込んでいることから、前年度に比べ減少した予算となっています。また、財政健全化への取組みにより基金の取崩しによる繰入金は減少していますが、普通建設事業の増加により市債は増加し、依然として財政事情は厳しく、財源不足に対応するため、基金を活用した予算編成となっています。

基金と市債残高

基金は、財政調整基金や特定事業のために積み立てた地域づくり基金などの特定目的基金を取り崩したことから減少しています。市債は、普通建設事業費の増加により借入れが増えましたが、償還も進んでおり、残高は減少しています。

